

令和8年度
第1回 宇治市文化芸術推進委員会

次 第

日時：令和8年8月19日（水）

午後2時～

会場：うじ安心館3階ホール

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

4 委員、事務局職員紹介

5 議事等

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| (1) 委員長選出、委員長職務代理指名…………… | 資料1 |
| (2) 文化芸術振興基本計画における令和7年度の事業実施状況について… | 資料2 |
| (3) 令和8年度の文化事業について…………… | 資料3 |

6 その他

7 閉会

宇治市文化芸術推進委員会 委員名簿
 (任期：令和8年8月17日 ～ 令和10年8月16日)

氏 名 ふりがな	職名等
こみやま きょうこ 小宮山 恭子	宇治市生涯学習審議会 委員長職務代理
しおみ けいこ 塩見 啓子	紫式部文学賞推薦委員会・紫式部市民文化賞選考委員会 委員
しげの ひろき 滋野 浩毅	京都産業大学 現代社会学部 教授・学部長
とくなが あつこ 徳永 厚子	宇治市芸術文化協会 事務局長
なかたに まさお 中谷 雅夫	宇治田楽まつり実行委員会 会長
にしだ なおたけ 西田 尚武	宇治文化少年団 団長
ひだり みゆき 左 美幸	宇治商工会議所 青年部会員
ふくい ひろこ 福井 ひろ子	宇治市子ども会連絡協議会 副会長
まつむら ひさし 松村 尚	宇治市観光協会 専務理事兼事務局長
やまもと じゅんこ 山本 淳子	京都先端科学大学 国際学術研究院 特任教授
よしかわ そうち 吉川 宗智	宇治市茶道連盟 会長
よしみず としあき 吉水 利明	宇治市文化財愛護協会 理事長

オブザーバー

うめはら かずひさ 梅原 和久	京都府文化生活部文化政策室 室長
--------------------	------------------

宇治市文化芸術推進委員会設置要項

(目的)

第1条 「宇治市文化芸術振興条例」第9条第1項に定める「宇治市文化芸術振興基本計画（以下「計画」という。）」に基づき、文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、宇治市文化芸術推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(審議事項)

第2条 委員会は次の各号に掲げる事項について、協議するものとする。

- (1) 文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進に関すること。
- (2) 計画の進捗等に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 文化芸術活動に携わる者
- (3) 第1条の目的の遂行に関係のある者
- (4) その他市長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により決定する。

3 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

4 前項の委員長に事故があるとき又は不在のときは、あらかじめ委員長が指名する者が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じ委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、産業観光部文化スポーツ課において処理する。

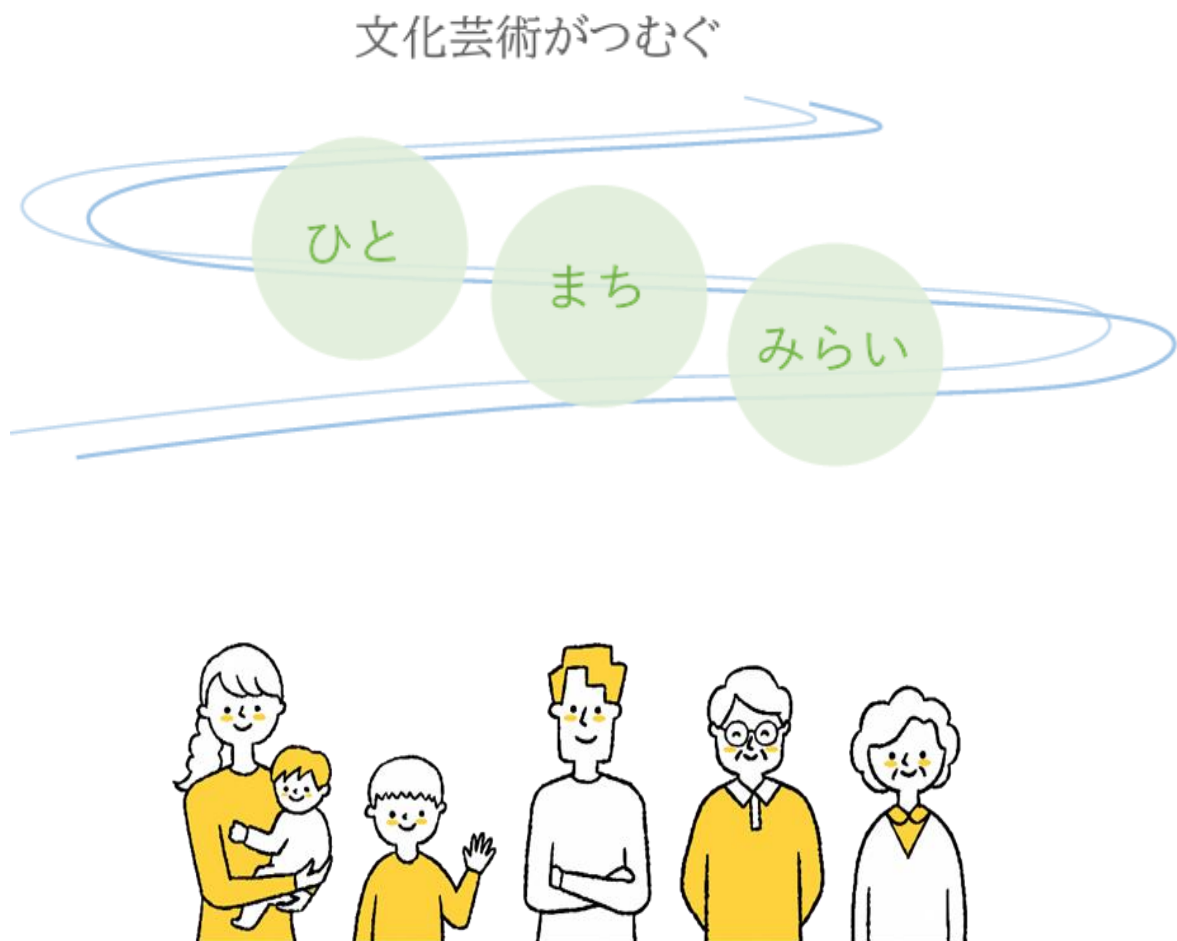
(補足)

第9条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会に諮って委員長が定めるものとする。

附 則

- 1 この要項は、令和4年7月11日から施行する。
- 2 この要項の施行後の最初の委員会の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が行う。

(2) 文化芸術振興基本計画における令和7年度の事業実施状況等について



数値目標について

取り組む柱	評価指標	令和３年度 (計画策定時) 現状値	令和６年度 実績	令和７年度 実績	計画期間中目標値	備考
					(上段)当初	
					(下段)変更案	
１ 機会の充実	暮らしを豊かにするうえで文化芸術を必要と思う市民の割合	79.9%	—	72.7%	85%	R7年7月実施 アンケート調査結果より
	文化芸術を鑑賞している市民の割合	74.9%	—	64.9%	81%	R7年7月実施 アンケート調査結果より
	市民交流ロビーコンサートの観覧者数	3,780人 ※平成30年度分	1,960人	2,210人	4,300人	
２ 交流の促進	宇治市民文化芸術祭の来場者数 (舞台の部・展示の部 合算)	6,400人 ※令和元年度分	4,496人	4,281人	7,500人	
３ 活動の促進	文化芸術活動をしている市民の割合	29.8%	—	22.2%	36%	R7年7月実施 アンケート調査結果より
	文化センター利用者数	137,194人 ※平成30年度分	99,422人	101,665人	150,000人	
４ 担い手・支え手育成	(高校生以下の)同居の子の暮らしを豊かにするうえで文化芸術を必要と思う市民の割合	79.6%	—	85.7%	86%	R7年7月実施 アンケート調査結果より
	宇治市少年少女合唱団 団員数	36人	22人	19人	50人	
５ 情報の発信	宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル動画総再生回数	34,219回	232,767回	283,081回	210,000回	累計
					450,000回	
	宇治市公式LINEで「まなび・文化」で通知設定している人 ※令和6年度から受信区分設定が変更され、「文化・芸術・スポーツ・まなび」で通知設定している人に変更	679人	3,500人 ※R7年4月16日時点	4,897人 ※R8年4月2日時点	1,150人	
					8,000人	

目標値の変更等について

実績が当初の目標値を超えている「5 情報の発信」の下記評価指標について、目標値の上方修正を行う。

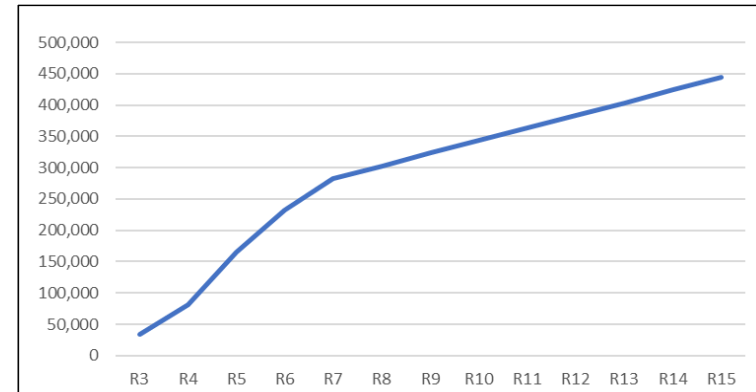
○宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル動画総再生回数

直近の年度（令和6年度実績から令和7年度実績）の伸び率を反映し、目標値の上方修正を行う。

令和3年度 (計画策定時) 現状値	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績
34,219回	80,579回	164,979回	232,767回	283,081回

伸び率：21.62%

目標値	
当初	変更案
210,000 回	450,000 回



2

○宇治市公式LINEで「まなび・文化」で通知設定している人

※令和6年度から受信区分設定が変更され、「文化・芸術・スポーツ・まなび」で通知設定している人に変更。

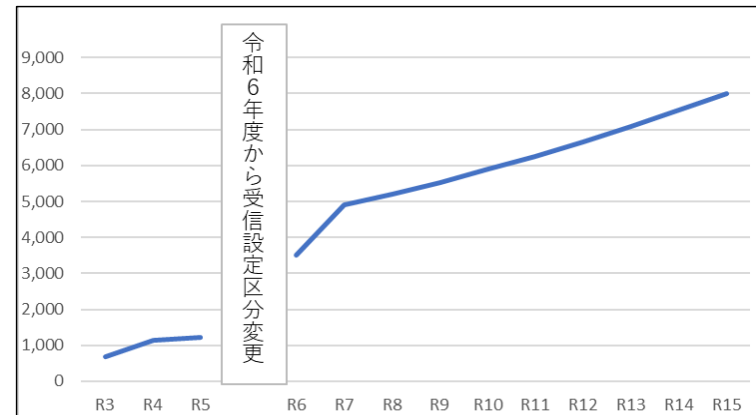
今回の目標値の変更と併せて、評価指標の名称についても変更する。

「まなび・文化」の受信区分設定時の年度（令和4年度実績から令和5年度実績）の伸び率を反映し、目標値の上方修正を行う。

令和3年度 (計画策定時) 現状値	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績
679人	1,152人	1,225人	3,500人	4,897人

伸び率：6.34%

目標値	
当初	変更案
679 人	8,000 人



令和 7 年度の主な事業実施状況

令和 7 年度における主な事業の実施状況です。それぞれの実績から、課題について検証し次年度以降の取り組みに反映します。

① 五感で楽しむ古の文化講座

1 機会の充実

「五感で楽しむ」をコンセプトに、平安時代から広がる文化に触れる体験型講座を実施しました。

幅広い世代の方々に平安時代の文化に触れる体験の機会を提供することが出来ました。

①春 抹茶の印香づくりー菓子木型でつくる温めるお香『抹茶印香 KOTOHA』ー

日時：令和 7 年 6 月 8 日（日）、参加者数：12 組 19 人

②夏 貝合わせー貝覆い遊びー

日時：令和 7 年 8 月 10 日（日）、参加者数：19 人

③秋 みんなで楽しむ古の音色ー雅楽であそぼ！ー

日時：令和 7 年 11 月 9 日（日）、参加者数：60 人

④冬 千年の調べをよむー『源氏物語』の和歌とわたしたちの短歌ー

日時：令和 8 年 1 月 18 日（日）、参加者数：28 人



■みんなで楽しむ古の音色

ー 雅楽であそぼ！ー

千年以上前から日本に伝わる雅楽のコンサート。

『源氏物語』や音楽好きの方も、小さなお子様もベビーカーのご家族連れも、みんなで楽しめる講座を開催しました。

0 歳児から参加可能とし、子どもが泣いても安心して参加いただけるよう、子どもたちのペースに合わせて演奏中の入退場も可能としました。



令和 8 年度も令和 7 年度に引き続き、講座内容等を検討しつつ、機会の充実に努めます。

② 宇治アートプロジェクト

1 機会の充実

令和 6 年度に実施した、宇治アートプロジェクト 日本画ワークショップ「宇治みやび」において参加者が描いた個々の屏風絵を、表具師が表装し、子どもたちの合同作品となる「屏風」が完成しました。

次世代を担う子どもたちが宇治ゆかりの歴史や文化を学び地域の魅力を再認識し、アートな体験を通して表現した合同作品である「屏風」を用いて、巡回展示等の様々な手法により情報発信を行うことで、アートを通じた地域の活性化を図ることが出来ました。

- ① 屏風の巡回展示 市内全 10 カ所
- ② 参加者等へのインタビュー動画作成
参加者、講師、協力企業等のインタビュー動画を作成し、展示会場や SNS 等の多様な情報媒体を用いて発信
- ③ イベント（講師等によるトークショー及びワークショップ）
日時：令和 8 年 3 月 7 日（土）
会場：お茶と宇治のまち歴史公園茶づな
 《トークショー「宇治で紡ぐ歴史と未来」》 12:30～13:00
 宇治ゆかりの日本画家と学芸員が語る“宇治の未来”
 参加者数：21 人〔定員：100 人（先着順）〕
 《ワークショップ》 午前の部 10:30～12:00、午後の部 14:00～15:30
 絵馬に使われる板に日本画の画材を使って”私だけの絵馬”を制作
 参加者数：午前の部 24 人、午後の部 12 人〔各回定員：30 人（予約優先）〕



今後も地域の子どもたちが地域の歴史や文化を学び、アートを通じて表現し伝えることの可能性を探るプロジェクトを展開します。

③ 源氏物語ミュージアム

講座「平安貴族の暮らしと文化」－VRで寝殿の中を歩く－

1 機会の充実

学芸員による平安貴族の暮らしや寝殿造などの講座を実施後、「平安宮仕えVR」、「平安お屋敷散策VR」と館内見学をそれぞれ行いました。

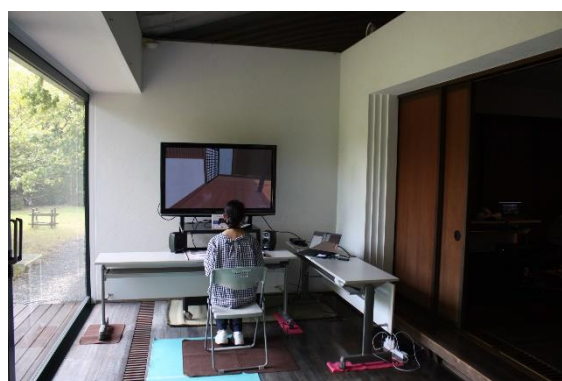
日時：令和7年8月2日（土）、3日（日） 9：30～16：00

令和7年10月11日（土）、12日（日） 9：30～16：00

会場：源氏物語ミュージアム

参加者数：《平安宮仕えVRコース》64人〔定員：168人（先着順）〕

《平安お屋敷散策VRコース》25人〔定員：232人（先着順）〕



臨時的な開催のため、令和8年度の開催はありません。

④ 市民文化芸術祭

2 交流の促進

文化意識の高揚と文化芸術活動の推進を目指し、市民等が日頃の文化芸術活動の成果を発表しました。文化芸術活動者間の交流と文化芸術活動の活性化を図るため、市民文化芸術祭を実施しました。

《フェニックスコンサート》

日時：令和7年4月20日（日） 12：00～15：30

会場：宇治市文化会館

参加者数：800人

《宇治市民いけばな展》

日時：令和7年5月10日（土）、11日（日） 9：00～17：00

会場：宇治市植物公園

参加者数：351人

《展示の部・舞台の部》

日時：令和7年10月25日（土）・26日（日） 10：00～17：00

会場：宇治市文化センター

参加者数：展示の部：1,031人・舞台の部：3,795人・茶席：84人

《宇治市民絵画展》

日時：令和7年11月27日（木）～30日（日） 10：00～17：00

会場：宇治市中央公民館

参加者数：1,759人

《宇治市民写真展》

日時：令和8年1月16日（金）・18日（日） 9：00～17：00

会場：宇治市中央公民館

参加者数：202人



※舞台の部



※宇治市民絵画展

各団体の活動者及び参加者（出展者・出演者）数が減少傾向にあるものの、入場者数は昨年度に比べて微増しました。参加者及び入場者が増え、文化芸術活動が活性化されるよう、今後の市民文化芸術祭のあり方について、市内の文化芸術団体と共に検討していく必要があります。

⑤ 障害者文化芸術活動振興事業

3 活動の促進

庁舎内に常設のアートスペースを整備し、障害のある方の創作活動の充実と社会参加を促進するため、展覧会及び関連事業を実施しました。

「Garden－林晃彦と志津川福祉の園－」

会期：令和7年6月9日（月）～11月21日（金）

《ギャラリートーク》

令和7年6月9日（月）

《交流イベント》 お茶会

①令和7年8月7日（木）、②令和7年10月16日（木）

参加者数：各回約50人

「MY WAY－しずかなあゆみ－」

会期：令和7年12月1日（月）～令和8年5月22日（金）

《ワークショップ》 オイルパステルに♡

① 令和8年1月31日（土）、②令和8年2月11日（水・祝）

参加者数：各回20人[定員：各回20人（抽選）]

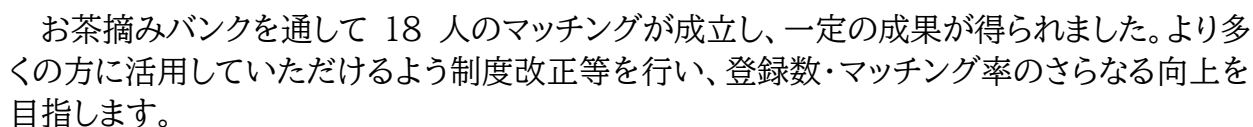


障害者アートの多様性・可能性を広く発信するとともに、新たに立ち上げた「∞ART 運営会議」を通じて美術・芸術分野の有識者等との連携が進みました。

今後も、多分野と連携・協働しながら、半年に1回程度の頻度で展覧会を開催し、関連事業を実施します。※令和8年度は展覧会3回開催

4 担い手・支え手育成

登録者数：通算 97 人。うちマッチング成立：通算 18 人。



⑦ 未来へつなぐ伝統手摘みおうえん事業

4 担い手・支え手育成

市内産宇治茶の伝統である「手摘み」を将来に亘り継承していくために、お茶摘みさんと茶農家さんが交流できる機会を設けることで、お茶摘みさんの確保・定着につなげました。

- ①京都府茶業研究所と連携した秋の茶摘み体験（茶生産者より直接茶摘み指導）
- ②茶生産者の茶園見学による交流機会の創出（茶農家さんの茶園を見学・交流）

日時：

- 1回目：令和7年9月22日（月）（参加者数14人→バンク登録5人→マッチング1人）
- 2回目：令和7年9月30日（火）（参加者数11人→バンク登録6人→マッチング1人）
- 3回目：令和7年10月9日（木）（参加者数13人→バンク登録2人→マッチング1人）

会場：

- ①お茶摘み体験 京都府茶業研究所の茶園
- ②茶園見学 中宇治地区・小倉地区・東宇治地区の茶園



3回の実施で参加者合計38人中、バンク登録者が13人、マッチングが3人と一定の効果が得られました。市内産宇治茶の特徴の一つである手摘みを守るため、お茶摘みさんの確保・定着につながる取組を行いました。お茶摘みバンクの登録と実際のマッチングにもつながり、成果がみられました。今後も引き続き、お茶摘みさんの確保・定着に努めます。

⑧ 源氏物語ミュージアム 特別企画展

5 情報の発信

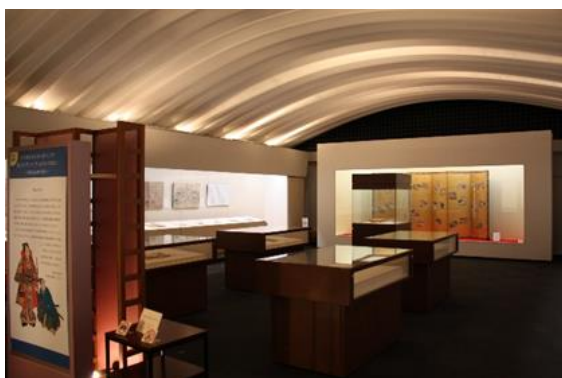
特別企画展は、歴史資料館の特別展と隔年で実施しています。令和 7 年度は、大河ドラマで高まった『源氏物語』への興味・関心を一層「深める」ため、実施しました。

令和 7 年度も「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として実施し、プロジェクトと連携した企画や源氏物語ミュージアムで実施する計画的で効果的な広報活動を通じて、積極的に『源氏物語』の魅力を発信することができました。

「月の夜に あなたの言うことを信じると言って、そっと抱いてほしい—昂まる古典の魅力—」

会期：令和 7 年 9 月 10 日(水)～12 月 14 日(日)

入館者数：31,867 人



令和 8 年度は、歴史資料館において特別展を開催予定のため、実施はありません。

○大阪・関西万博宇治の魅力発信事業費（文化スポーツ課）

関西パビリオンの多目的エリアのステージイベントにおいて「宇治田楽」の披露を実施すると共に、京都ゾーンにおいて、実演を踏まえた展示を実施しました。

◎多目的エリア「MEET UP KYOTO きょうと大集合」 ステージイベント

日時：令和7年5月4日（日・祝）

◎京都ゾーン「ICHI-ZA KYOTO 一座きょうと」

展示分野「文化」、ウィークテーマ「霽れと褻（ハレトケ）」

日時：令和7年5月19日（月）～25日（日） ※実演は5月25日（日）



大阪・関西万博において、ふるさと宇治のまつりとして「宇治田楽」を披露することで、宇治の文化の魅力を世界に向けて発信することが出来ました。今後も宇治の文化の魅力を発信すると共に、次世代への継承を図っていきます。

○大阪・関西万博出展事業費（農林茶業課）

大阪・関西万博の関西パビリオン京都ゾーンにて、呈茶を実施しました。亭主が「お茶でもてなす」を実演したうえ、もてなされたお茶（抹茶または玉露）を試飲してもらい、亭主が客人にお茶をふるまってもてなすという、古より受け継がれる「日本式お茶のおもてなし」を提供しました。

日時：令和7年8月18日（月）、19日（火）

会場：関西パビリオン京都ゾーン



大阪・関西万博において、亭主が客人にお茶（抹茶と玉露）の呈茶を実施し、宇治茶のおもてなしの文化や魅力を発信できました。今後も、高品質な宇治茶の魅力を発信するとともに、宇治茶ブランドのさらなる向上と需要拡大を目指していきます。

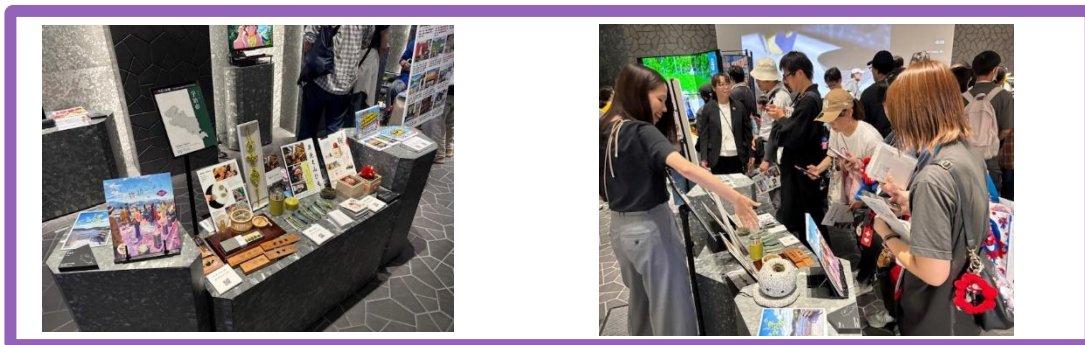
○大阪・関西万博出展（観光振興課）

大阪・関西万博の関西パビリオン京都ゾーンにおいて、紫式部ゆかりのまち宇治 PR 動画「うじには物語がある」の放映に加え、「くみひも」や「お香」、「茶葉のフラワーアート」など、お茶に関する宇治の工芸品を展示し、新たな視点で宇治市の魅力を発信しました。展示スペースには、工芸品の HP やオンラインストアの QR コードを展示し購買につなげるとともに、実際に宇治に訪れ、体験したくなるような PR を実施しました。

日時：[放映]令和 7 年 10 月 6 日（月）～10 月 13 日（月・祝）

[出展]令和 7 年 10 月 13 日（月・祝）

会場：関西パビリオン京都ゾーン



今後も宇治市の豊富な観光資源を活かし、宇治ならではのプレミアムな体験による誘客を図ることで、国内外の観光客に楽しんでいただけるよう観光振興に取り組めます。

令和7年度その他の事業実施状況について

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	昼休憩時間にミニコンサートを開催。気軽な音楽活動を発表する場として市庁舎を提供し、音楽文化の促進と市民相互の交流を図る。
主な市の事業 (令和7年度)	市民交流ロビーコンサート 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	昼休憩時間の12:15～12:45に、市役所1階市民交流ロビーを会場として全16回開催した。 延べ観覧者数:2,210人
検証・評価	分析・考察	市民交流ロビーコンサートを開催することで、文化芸術の発表にとどまらず、市庁舎という身近な場所で、広く市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。	
	今後の取組方針	市民等による文化芸術活動の促進と文化芸術に身近に出会う機会の充実に向け、令和8年度からは年間の回数を24回に増やして開催することで、より多くの市民に音楽に親しむ機会を提供する。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	研究者や作家を講師として『源氏物語』の理解を深め広めることを目的に開催している。令和7年度は「夢を見る光源氏、夢を見ない薫」と題して実施した。
主な市の事業 (令和7年度)	(源氏ろまん事業) 源氏物語セミナー 博物館管理課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和7年11月26日(水) 参加者数:168人
検証・評価	分析・考察	本セミナーは研究機関である大学の研究成果と市民とを結びつける機会となっている。	
	今後の取組方針	最新の研究成果も含め、『源氏物語』の魅力をより一層紹介する源氏物語セミナーを開催する。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客に本場の宇治茶を気軽に味わってもらっている。
主な市の事業 (令和7年度)	市営茶室対鳳庵 観光振興課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	入席者数21,376人 (有料券:20,452人、招待券:924人)
検証・評価	分析・考察	令和6年度の入席者数20,940人に比べ増加した。インバウンドの利用が多く、入席者全体の約8割を占めた。インバウンド受入体制の強化として、翻訳機の導入を行い、国内外問わず入席者の満足度の向上を図った。	
	今後の取組方針	インバウンド受け入れ体制の強化を図りつつ、より多くの方へ宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興に努める。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	生涯学習センター1階ロビーを市民の生涯学習の発表の場として開放している(1団体・個人ごと最大7日間)。展示期間中は市民向けのミニ講習会を開くことが可能。
主な市の事業 (令和7年度)	生涯学習センター ロビー展示 生涯学習課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	展示団体数:46団体 展示日数:延べ250日
検証・評価	分析・考察	前年度と比較して展示団体数(43団体)展示日数(延べ229日)より、3団体増加、展示日数は21日増加した。	
	今後の取組方針	展示団体数、来場者数、展示団体と来場者の交流機会の増加に向け、より一層広報を工夫する。	





取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	『源氏物語』及び平安時代の文化についてより理解を深めるため、研究者を講師とした全10回の連続講座を開催している。
主な市の事業 (令和7年度)	源氏物語ミュージアム 連続講座 博物館管理課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和7年5月～令和8年3月(全10回) 各講座とも 14:00～15:30 会場:源氏物語ミュージアム 参加者数:836人(延べ)
検証・評価	分析・考察	令和7年度は、「昂まる古典の魅力ーよむ・みる・書き留めるー」をテーマに実施した。定員を超える応募が大半で、参加者の興味、関心が高いことがうかがえる。また、大学をはじめとする研究機関の研究成果と市民とを結びつける機会となっている。	
	今後の取組方針	最新の研究成果も含め、『源氏物語』の魅力をより一層紹介する連続講座を開催する。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	学芸員による『源氏物語』及び平安時代の基礎知識などについて解説する講座。
主な市の事業 (令和7年度)	源氏物語ミュージアム 入門講座 博物館管理課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時: 令和7年6月～令和8年2月(全9回) 各講座とも10:00～11:30 会場: 源氏物語ミュージアム 参加者数: 781人(延べ)
検証・評価	分析・考察	令和7年度は、「シン・入門講座 源氏物語をよむ・みる・あそぶ」をテーマに実施した。定員を超える応募があり、参加者の興味、関心が高いことがうかがえる。	
	今後の取組方針	多様な視点から『源氏物語』ならびにその舞台となった宇治の魅力を紹介する入門講座を開催する。	

取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	小・中学生を対象に平安時代の鏡や瓦のミニチュア製作体験を行い、また木幡・御蔵山学区の小・中学生が文化財に触れる機会を創出するため、重要文化財の松殿山荘において建物の見学と茶道のお点前体験を実施した。
主な市の事業 (令和7年度)	歴史文化体験事業 歴史まちづくり推進課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	鏡のミニチュア製作体験 参加者数15組 瓦のミニチュア製作体験 参加者数 7組 松殿山荘で〇と□を探そう 参加者数20組
検証・評価	分析・考察	参加者に宇治の重層的な歴史の体感、魅力の再発見の機会を提供し、歴史的価値を知ってもらうことができた。	
	今後の取組方針	令和8年度も、イベントの内容を検討しつつ、継続して実施する。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト取組の一環として、宇治市在住の小学生が古典に親しむ機会を創出するとともに、他校児童との交流や学びの場となるよう、百人一首大会を開催した。
主な市の事業 (令和7年度)	百人一首大会 生涯学習課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和7年11月3日(月・祝)9:30～16:00 参加者数:低学年33人、高学年19人
検証・評価	分析・考察	市内小学校に大会チラシを配架したところ、ほぼ定員(60人)に近い参加者が、各学校や学年から集まった。	
	今後の取組方針	引き続き、小学生が古典に親しみ、参加者同士が交流できる場となるよう、事業内容を検討し継続する。	



取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	仮名書道の基本を学んでいただき、実際に筆ペンで書く実技も行う講座を実施した。
主な市の事業 (令和7年度)	仮名書道体験講座 生涯学習課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時: 令和7年9月20日(土) 14:00～16:00 会場: 生涯学習センター 参加者数: 46人
検証・評価	分析・考察	申し込み開始から2日で定員に達し、仮名書道は人気が高い。実際の講座は、講義と実技を織り交ぜて行い、テンポよく進んだことから、充実した2時間であったとの声が多くあった。	
	今後の取組方針	参加者の満足度はとても高かったようなので、今後も市民の方が魅力的と感じる講座を実施したい。	





取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	室町時代に生まれた全国にも知れ渡る七つの茶園「宇治七名園」の場所を示す石碑が七つ揃ったことを記念して開催した。
主な市の事業 (令和7年度)	宇治七名園の碑 巡り 歴史まちづくり推進課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時: 令和7年7月12日(土) 参加者数: 26人
検証・評価	分析・考察	宇治の茶業・文化の歴史を改めて知ってもらう機会をつくることができた。	
	今後の取組方針	令和8年度は、一般財団法人宇治市文化財愛護協会が独自事業として実施する。	





取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	室町時代に生まれた全国にも知れ渡る七つの茶園「宇治七名園」の場所を示す石碑が七つ揃ったことを記念して開催した。
主な市の事業 (令和7年度)	宇治七名園の碑 講演会 歴史まちづくり推進課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和7年6月17日(火) 来場者数:78人
検証・評価	分析・考察	宇治の茶業・文化の歴史を改めて知ってもらう機会をつくることができました。	
	今後の取組方針	宇治七名園の碑が七つ揃ったことを記念して行われたものであるため、今後の実施予定はない。	





取り組む柱	1 機会の充実	事業概要	小・中学生を対象に、宇治の持つ歴史・文化を知ってもらうために、黄檗山萬福寺で国宝指定された建物3棟の見学説明と、座禅体験を実施した。
主な市の事業 (令和7年度)	文化財見学会 歴史まちづくり推進課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時:令和7年12月6日(土) 参加者数:児童15人、保護者17人
検証・評価	分析・考察	新型コロナウイルス感染症の影響で長らく開催できておらず、久しぶりの開催であった。子供たちとその保護者に歴史・文化に触れてもらえた。	
	今後の取組方針	より一層、歴史・文化に興味を持ってもらえるような題材を検討し、引き続き実施する。	



取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	宇治橋周辺の宇治十帖ゆかりの地など21箇所をスタンプスポットとし、スマートフォン等のGPS機能を使用したデジタルスタンプラリーを実施する。スマートフォンを持っていない人向けにはウォーキングマップを準備する。
主な市の事業 (令和7年度)	(源氏ろまん事業) 宇治十帖スタンプラリー 観光振興課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和7年10月1日(水)～11月30日(日) 踏破者数:8,362人 (スマートフォン5,214人、ウォーキングマップ3,148人)
検証・評価	分析・考察	地域の商店街で利用できる共通利用券や宇治市内での体験チケットを賞品に取り入れるなど地域への波及効果や事業の魅力アップを図った。さらに今年度から新たに黄檗、小倉エリアの体験賞品を取り入れたことにより、より広い範囲で魅力を発信できた。踏破者数は、令和6年度をやや上回る結果となり、アンケート調査でも好評を得た。内訳においてスマートフォン、ウォーキングマップを利用される方共に増加した。	
	今後の取組方針	「紫式部と源氏物語ゆかりのまち」としての宇治の歴史・文化・観光の魅力を市内外の多くの方々へPRすることを目指し、参加者数増加に向けた事業実施方法の検討を進める。	



取り組む柱	2 交流の促進	事業概要	生涯学習に取り組んでいる人の発表・交流の場とすると共に、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場として開催している。市民公募による実行委員会形式。
主な市の事業 (令和7年度)	宇治まなびんぐ 生涯学習課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	開催日:令和8年2月14日(土)～2月15日(日) 出展者:38団体・個人 参加者数:743人
検証・評価	分析・考察	例年と同規模の出展者数があり、学習活動の発表と交流の場、参加者のきっかけ作りの場とすることができた。今後も実行委員の前向きなアイデアを大事にしながら、出展者参加者・実行委員が学び合う場の充実を図る。	
	今後の取組方針	出展者数、参加者数、出展者と参加者の交流機会の増加に向け、実行委員とともに引き続き新しい工夫や企画を検討する。	





取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	市内の高校生による自主的・創造的な文化芸術活動の成果発表を通じて、若年層の文化芸術活動者の学校を越えた交流を図る。
主な市の事業 (令和7年度)	高校生文化芸術祭典 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時: 令和7年12月14日(土)10:00～17:00 会場: 宇治市文化センター 出演者数 260人[16団体]／入場者数 2,570人
検証・評価	分析・考察	高校生の文化芸術活動の発表や作品の鑑賞を通じて、互いの活動や工夫等の情報交換の場を創出し、新たなつながりや活動を生み出す機会を提供できた。	
	今後の取組方針	参加者同士の更なる交流の場とするための効果的な手法を検討する必要がある。	



取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	数々の古典文学の舞台となった文化的伝統の継承・発展を図り、市民文化の向上に資することを目的として実施する。
主な市の事業 (令和7年度)	(源氏ろまん事業) 紫式部市民文化賞 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	< 紫式部市民文化賞贈呈式 > 日時: 令和7年11月22日(土) 13:30～14:30 会場: 宇治市文化会館 小ホール 受賞作: 松良俊明氏 『回想のアーミデールーある昆虫研究者の異文化体験』 奨励賞: 水上壽恵氏『私の投稿50年』 ユース賞: 山本結月氏『依頼料理屋四島(しじま)』 京都府立宇治支援学校 高等部くらし健康コース 『令和6年度 思い出川柳』
検証・評価	分析・考察	市販されていない作品を受賞作品集として冊子化し頒布するとともに、市内図書館及び市内小中学校・高校等に配布し、多くの人が手に取りやすいようにした。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 応募者数増加へ向けて、広報手段等の検討が必要である。	





取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	多様な媒体を活用した文化芸術に関する情報発信のため、インターネット上の動画配信という形で、市内で活動している団体・個人の文化芸術作品を専用のYouTubeチャンネルにて配信を行う。動画撮影・編集講座を開催する。
主な市の事業 (令和7年度)	文化芸術活動おうえんチャンネル 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	YouTube内の「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」で、市内で文化芸術活動をされている個人・団体等が作成された動画を配信した。 ◎配信動画数 12本 ◎延べ視聴回数 283,081回(令和8年3月末時点)
検証・評価	分析・考察	文化芸術活動を広く発表する場を提供することができた。動画配信で市内外の多くの人に見ていただくことで、文化芸術に触れる機会を充実することができた。	
	今後の取組方針	おうえんチャンネル内の動画投稿数の更なる増加を目指す。	

取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	高齢者の生きがいがいづくりや高齢者の今後の活動をより充実したものに支援するため、京都文教学園と連携し、大学の特色を生かした多世代での交流など、さまざまな活動を通じ、学びを提供した。
主な市の事業 (令和7年度)	高齢者アカデミー 長寿生きがい課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	通年実施 令和7年度入学者数:11人 令和7年度卒業生数:14人
検証・評価	分析・考察	卒業研究でのカフェ運営を経て劇団を旗揚げし、文化センターで公演を行うなど、自らの特技を活かして地域コミュニティの輪を主体的に広げる卒業生が育っている。	
	今後の取組方針	より多くの高齢者の方が、地域で活躍できるよう、今まで以上にそれぞれの方の特技を活かした活動が実施できるよう、引き続き大学と連携して進めていく。	





取り組む柱	3 活動の促進	事業概要	「文化芸術がつむぐ ひと・まち・みらい」の実現に向け、宇治の豊かな歴史と文化を未来に継承し、自主的かつ創造的な文化芸術活動に要する経費について補助金を交付する。
主な市の事業 (令和7年度)	つむぐみらい文化芸術活動 支援事業 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	補助金交付件数:10件 補助金交付総額:595,000円 《補助対象事業内訳》 ・文化芸術の継承や活動者の育成 … 2件 ・文化芸術の創造及び地域の活性化 … 8件
検証・評価	分析・考察	令和7年度は第2次募集まで実施し、令和6年度実績と同様の件数・金額となった。予算枠の上限には達しなかったが、文化芸術活動の創造及び地域の活性化等につながった。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 申請件数等の増加へ向けて、募集期間の拡大や広報手段等の検討する必要がある。	





取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事等に出演する。
主な市の事業 (令和7年度)	少年少女合唱団 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの19人で、土曜日午後の練習、コンサート出演などの活動を行い、令和7年度は、広島県三次市で開催された全日本少年少女合唱祭全国大会に参加した。
検証・評価	分析・考察	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。	
	今後の取組方針	今後もさらなる活性化に向けて、団員確保に努めるとともに、合唱団活動という体験をきっかけに文化芸術の担い手を育成していく、持続可能な運営手法について検討する必要がある。	



取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	市内の小・中学生及び高校生等の文化に関する意識の高揚や振興を図るため、文化活動に関して優秀な成績を収めた者又は顕著な成果を挙げた者に対し、市長が表彰し、その顕彰をするものである。
主な市の事業 (令和7年度)	市ジュニア文化賞・ジュニア文化奨励賞 生涯学習課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	ジュニア文化賞受賞者・団体:4件 ジュニア文化奨励賞受賞者・団体:2件
検証・評価	分析・考察	受賞者・団体数は令和6年度(ジュニア文化賞7件、ジュニア文化奨励賞3件)からは若干減少傾向となった。コンクール等により選出されたものではないが、宇治市を含めた地域社会への貢献が期待できる作品など、幅広い分野からの推薦があった。	
	今後の取組方針	引き続き、市内の小・中学校、市内及び近隣の高校に推薦依頼し、候補者を募るとともに、情報収集に努める。	



取り組む柱	4 担い手 ・支え手育成	事業概要	市内産宇治茶を長年支えていただいているお茶摘みさんに感謝を示すとともに、今後も手摘みを担っていくモチベーションにいただくため、市制施行記念式典にて感謝状を贈呈する。通算30年以上従事し、現在も現役で取組んでおられる方が対象。
主な市の事業 (令和7年度)	お茶摘みさんへの感謝状贈呈 農林茶業課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	お茶摘みさん7人に宇治市制施行記念式典にて感謝状を贈呈
検証・評価	分析・考察	市内産宇治茶の伝統を支えておられることを再認識いただき、手摘みを続けることへのやりがいを感じていただくきっかけとすることができた。	
	今後の取組方針	市内産宇治茶の伝統を将来に継承していくため、継続して取り組む。	





取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	宇治茶の伝統的な「手摘み」を市民並びに観光客に体験していただき、宇治市の伝統産業であり、特産品でもある宇治茶の普及啓発を図る。 当日はお茶摘みの体験及び新茶の振る舞いを実施。
主な市の事業 (令和7年度)	市民茶摘みのつどい 農林茶業課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	令和7年5月11日(日)10:00～12:00まで茶業センターにて実施 定員200人(先着)とし、200人参加。30分刻み50人ずつ×4回
検証・評価	分析・考察	先着順予約制であり、すぐにイベントの定員200人が埋まった。 宇治ならではの茶摘みの人気度がうかがえる。	
	今後の取組方針	宇治茶の良き伝統をより身近に感じていただく機会とするため、継続して開催していく。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	伝統ある日本女性文学の継承・発展と、市民文化の向上に資することを目的として実施する。受賞者講演会を開催したり、市政だよりにコラムを掲載することで、市民に宇治市の魅力を再認識してもらう。
主な市の事業 (令和7年度)	(源氏ろまん事業) 紫式部文学賞 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	<紫式部文学賞贈呈式及び紫式部文学賞受賞者講演会> 開催日:令和7年11月22日(土) 贈呈式:13:30～14:30 講演会:15:00～16:00(参加者150人) 場 所:宇治市文化会館小ホール 受賞作:水村美苗氏『大使とその妻』
検証・評価	分析・考察	伝統ある日本女性文学の継承・発展と、市民文化の向上が図れた。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 より多くの市民が誇りと愛着を持って関われる賞になるよう、実施方法を検討していく必要がある。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	平安時代の民俗芸能である田楽を市民のまつり「宇治田楽」として復活、京都府立宇治公園(中の島)で披露する。
主な市の事業 (令和7年度)	(源氏ろまん事業) 宇治田楽まつり 文化スポーツ課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	日時: 令和7年10月18日(土) 17:00～19:00 場所: 宇治市文化会館 大ホール ※雨天のため 参加者数 630人
検証・評価	分析・考察	地域の個性あふれる文化芸術活動の鑑賞・体験により、市民が宇治市の魅力を再認識する機会を創出し、市民文化の向上が図れた。	
	今後の取組方針	引き続き実施する。 より多くの市民の方に、まつりの魅力が伝えられるよう、広報周知に努める。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	宇治茶の魅力や宇治の歴史・文化を発信するため、ミュージアム運営および各種事業を実施した。
主な市の事業 (令和7年度)	お茶と宇治のまち歴史公園 観光振興課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	令和7年度 ミュージアム入館者数54,862人 講座・体験事業参加者数32,498人
検証・評価	分析・考察	HPやSNSで幅広く広報活動をしたことや、OTAと契約することで旅行者が予約できる選択肢を増やしたことが集客につながったと考えられる。また、利用者への口コミ投稿を促すキャンペーンや、体験とミュージアムのセット券を販売したことなどにより、ミュージアム入館者数、講座・体験事業参加者数とも増加した。	
	今後の取組方針	入館者の増加に向け、情報発信の更なる強化を検討する。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	様々な視点から、『源氏物語』をはじめとする古典や宇治の歴史などについて紹介する企画展を実施。
主な市の事業 (令和7年度)	源氏物語ミュージアム 企画展 博物館管理課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	・「写真でつづる源氏物語、京、そして宇治」 会期: 令和7年4月23日(水)～6月29日(日) 観覧者数: 24,819人 ・「源氏ワンダーランド」 会期: 令和7年7月2日(水)～9月7日(日) 入館者数: 19,168人 ・「源氏物語と工芸」 会期: 令和7年12月17日(水)～令和8年2月15日(日) 入館者数: 10,937人 ・「子どもたちの『源氏物語』」 会期: 令和8年2月18日(水)～4月19日(日) 入館者数: 15,423人
検証・評価	分析・考察	令和6年度に引き続き「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」との連携事業として開催した。公益財団法人古代学協会と初共催した企画展の開催や関連事業(ワークショップ)を通して、宇治の多彩な歴史や名所、そして『源氏物語』をはじめとする古典の魅力を発信した。	
	今後の取組方針	令和8年度も引き続き、宇治の多彩な歴史や名所や『源氏物語』をはじめとする古典の魅力を発信する企画展を開催する。	



取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	宇治の歴史及び文化財に関し、様々な視点からテーマを設定して、展覧会を開催する。
主な市の事業 (令和7年度)	歴史資料館 企画展 博物館管理課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	・「なんといってもお茶は宇治 宇治から世界へ」 会期: 令和7年5月10日(土)～6月22日(日) 入館者数: 1,185人 ・「戦後80年 戦争遺品展 戦時中の暮らし」 会期: 令和7年7月5日(土)～8月31日(日) 入館者数: 2,538人 ・「萬福寺国宝指定記念 五ヶ庄の人々と暮らし」 会期: 令和7年9月13日(土)～11月30日(日) 入館者数: 1,913人 ・「ちょっと昔の街と暮らし① 昭和ノスタルジー」 会期: 令和7年12月13日(土)～令和8年2月15日(日) 入館者数: 1,357人 ・「ちょっと昔の街と暮らし② タヤけの思ひで」 会期: 令和8年2月28日(土)～4月26日(日) 入館者数: 1,032人
検証・評価	分析・考察	市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、企画展を実施した。	
	今後の取組方針	今後も、展覧会を通して市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史及び文化について理解を深めることができるよう、工夫を凝らした展示の実施に努める。また、令和8年度は特別展を開催予定である。	





取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	旧暦の七夕に合わせて京都府内の各所で開催されている「京の七夕」との融合を図り、宇治の風情を醸し出す情緒豊かな「京の七夕in Uji」としてオリジナルの演出で実施する。
主な市の事業 (令和7年度)	京の七夕 in Uji 観光振興課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	期間: 令和7年8月1日(金)～3日(日) 場所: 京都府立宇治公園周辺一帯、他 内容: ライトアップ(宇治公園、天ヶ瀬ダム、宇治発電所)、天空演出「天の川の出会ひ」、巨大笹&浮島十三重塔ライトアップ、京の七夕願い箱、SMBC宇治グリーン発電所プレミアムツアー、天ヶ瀬ダムナイトツアー、宇治橋通り商店街スマイルサタデークラフトビール夜市、楽しく学ぼう七夕まつり～紫式部の時代から～ 等 参加者数: 約1.6万人(関連イベント1万人) 主催: 京の七夕in Uji 実行委員会
検証・評価	分析・考察	宇治オリジナルの夜の演出により、観光の振興と活性化を図ることが出来た。	
	今後の取組方針	引き続き、宇治らしさを生かした夜のにぎわいづくりを推進する。	
			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	京都アニメーションと連携し、紫式部ゆかりのまち宇治のPRを実施。
主な市の事業 (令和7年度)	京都アニメーションとの連携 観光振興課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	・紫式部ゆかりのまち宇治キービジュアル舞台マップの作成 ・紫式部ゆかりのまち宇治キービジュアル、ロゴマークを活用したポスター掲示、車両広告等 ・「響け！ユーフォニアム」と「源氏物語・宇治十帖」の世界がコラボしたオリジナルイラストの掲示
検証・評価	分析・考察	紫式部ゆかりのまちである宇治の歴史・文化・観光の魅力を、新たな形で幅広い年代の人に発信することができた。	
	今後の取組方針	今後も、キービジュアル等を活用した魅力発信とまちの活性化に努める。	
			

取り組む柱	5 情報の発信	事業概要	宇治市内の飲食店で一定期間、一斉に紫色と緑色に着目した「むらさきみどりメニュー」を提供し、市内外問わず多くの人を楽しんでいただくことで「紫式部ゆかりのまち」を強く発信していく。
主な市の事業 (令和7年度)	むらさきみどり いとおいし 食のいろどりキャンペーン in 宇治 秘書広報課	令和7年度実績 (日程・参加者数等)	キャンペーン期間:令和7年9月19日(金)～11月30日(日) ■参加店舗数:78店舗 ■推しへの投票イベント 9月19日(金)～10月5日(日) ・総投票件数:2,864件 ・総投票数 :12,785票(1人約4.5票)
検証・評価	分析・考察	参加店舗及び、投票参加数は令和6年度より伸びており、「紫式部ゆかりのまち」を発信することができた。	
	今後の取組方針	引き続き、宇治市内の飲食店で一定期間、「むらさきみどりメニュー」を提供することで「紫式部ゆかりのまち」を発信していく。 また、海外を含む市外への発信を強化することで、街のさらなる活性化を図る。	



令和8年度の文化事業について

1. 紫式部のまち魅力発信関連事業



1 源氏物語への興味・関心を「深める」

〈 源氏物語ミュージアム企画展等関連事業 〉

○源氏物語ミュージアム企画展(博物館管理課)

①企画展 宇治を旅する一名所図会の世界―

宇治をはじめとする各地の名所・旧跡について、名所図会を通して紹介します。

・会期 令和8年4月22日(水)～6月28日(日)

②企画展 源氏ワンダーランド

『源氏物語』が描かれた平安時代、貴族たちの生活様式は、現在の我々の感覚からするとちょっと不思議な感じがします。絵画資料等を通して、そんな貴族たちの生活を垣間見ます。

・会期 令和8年7月1日(水)～9月13日(日)

③企画展 描かれる源氏物語

屏風、錦絵、版本などに描かれる『源氏物語』を展示します。

・会期 令和8年9月16日(水)～11月29日(日)

④企画展 寿ぐ！屏風絵

大画面で大勢の人々が楽しむことのできる屏風。新春を寿ぐ画題を中心に展示します。

・会期 令和8年12月2日(水)～令和9年2月14日(日)

⑤企画展 あっ、この場面知ってます―源氏絵からみる物語の世界―

『源氏物語』を題材にした源氏絵から、その場면을文章と共に紹介します。

・会期 令和9年2月17日(水)～4月18日(日)

2 宇治の歴史や文化を「体感する」

○ 歴史文化体験事業費(歴史まちづくり推進課)

● 鏡と瓦のミニチュア製作体験

小・中学生を対象に、藤原道長が建立した浄妙寺跡などから出土した、平安時代の鏡や瓦のミニチュア製作体験を行い、宇治市の持つ歴史の魅力に触れる機会を創出しました。

- ・日時 ①鏡製作:7月4日(土) 午前の部10:00～、午後の部14:00～
②かわら製作:7月5日(日) 10:00～
- ・会場 生涯学習センター3階 創作室
- ・対象 小学生・中学生(小学生は保護者同伴要)
- ・参加者数 ①11人、②5人



3 紫式部ゆかりのまちの魅力を「伝える」

〈 紫式部のまち魅力発信プロモーション事業費 〉

○情報発信業務(観光振興課)

2024年大河ドラマ「光る君へ」を契機とした、源氏物語と紫式部ゆかりの地である宇治の歴史・文化・観光の魅力発信及びまちの活性化に向けたプロモーションを実施します。

- ・WEB での PR ニュースの配信(夏・秋ごろ配信予定)

WEB での PR
「Lmaga.jp」



〈 広域観光推進事業費 〉

紫式部ゆかりのまち三市(宇治市・越前市・大津市)による連携により講座を開催

○教養講座「仮名文字から見る源氏物語の世界」(生涯学習課)

紫式部によって書かれた源氏物語の世界をより深く理解し、仮名文字の歴史・魅力を感じていただくための取り組みを実施します。

- ・日時 令和8年9月19日(土) 14:00～16:00
- ・会場 宇治市文化会館 小ホール
- ・講師 根本 知 氏(書家)
- ・募集人数 380人(申込・先着)



博士(書道学)、立正大学文学部特任講師
2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」題字揮毫
及び書道指導

2. 令和8年度「源氏ろまん2026」(案)

令和7年度に引き続き、源氏ろまん事業及び同時期開催事業の一部については、宇治の歴史・文化・観光の魅力を発信する「紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト」の一環として実施します。

1 源氏ろまん事業

(1) 第36回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞受賞作品発表

- ・日時 令和8年9月24日(木) 13:30～14:30
- ・会場 宇治市源氏物語ミュージアム 講座室
- ・内容 受賞作品発表
主催者(宇治市長、宇治市教育委員会教育長)
紫式部文学賞選考委員長 鈴木 貞美 氏
紫式部市民文化賞選考委員長 中川 成美 氏

(2) 宇治田楽まつり

- ・日時 令和8年10月17日(土) 17:00～18:30
- ・会場 京都府立宇治公園中の島および周辺(雨天:宇治市文化会館 大ホール)
- ・内容 平安時代の代表的な芸能である田楽を「ふるさと宇治」のまつりとして市民の手で復活させた「宇治田楽まつり」を開催し、宇治の文化と魅力を広く発信します。

(3) 源氏物語セミナー

- ・日時 令和8年10月30日(金) 14:00～15:30
- ・会場 宇治市源氏物語ミュージアム 講座室
- ・講師 熊倉 功夫 氏(MIHO MUSEUM 館長)
- ・演題 寛永文化と古典復興
- ・内容 『源氏物語』への理解を広めることを目的に、毎年度、様々なテーマを設定し、源氏物語セミナーを開催します。今年度は、江戸時代初期に展開した寛永文化に注目します。当時、王朝文化がさまざまな形で復興しました。その諸相をたどります。
- ・募集人数 80人(応募者多数の場合抽選)

(4) 第36回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞贈呈式及び紫式部文学賞受賞者講演会

- ・日時 令和8年11月15日(日) 13:30～16:00
- ・会場 宇治市文化会館 小ホール
- ・内容 贈呈式及び紫式部文学賞受賞者講演会
オープニング 「古典燦讃コンサート」～古典文学への誘い～
第1部 贈呈式
主催者(宇治市長、宇治市教育委員会教育長)
「紫式部文学賞」
「紫式部市民文化賞」
「紫式部市民文化賞奨励賞」
「紫式部市民文化賞ユース賞」
(講評) 紫式部文学賞選考委員長 鈴木 貞美 氏
紫式部市民文化賞選考委員長 中川 成美 氏
第2部 紫式部文学賞受賞者講演会
(演題) 未定
(講師) 第36回紫式部文学賞受賞者
- ・募集人数 380人(応募者多数の場合抽選)

(5) 宇治十帖スタンプラリー ～スマホで巡る～

- ・日時 令和8年10月1日(木)～11月30日(月)
- ・会場 宇治橋を中心にした約20ポイント(宇治十帖ゆかりの地など)
- ・内容 スマートフォン等のGPS機能を使用した多言語対応スタンプラリーのほか、スマートフォンをお持ちでない方向けにウォーキングマップを配布し、紫式部ゆかりの地を紹介します。
また、スマートフォンで参加される場合、スポットにおいて音声ガイドを聞くことができます。宇治十帖踏破者へは記念のオリジナルバッジを進呈します。さらに、抽選で宇治の多様な体験ができる賞品を準備します。
- ・参加予定数 7,500人～9,000人程度

2 同時期開催事業

(1) 五感で楽しむ古の文化講座 豊臣秀吉が愛した能楽 一舞！謡！語！能はとってもおもしろい！
能楽にまつわる話を聴き、実際に声の出し方や、すり足などを体験する講座を実施します。

- ・日時 令和8年8月29日（土） 13：30～15：00
- ・会場 宇治市文化会館 リハーサル室
- ・講師 田茂井 廣道 氏（能楽シテ方観世流能楽師）
- ・募集人数 30人（応募者多数の場合抽選）

(2) 宇治市源氏物語ミュージアム 企画展

「描かれる源氏物語」

屏風、錦絵、版本などに描かれる『源氏物語』を展示します。

- ・会期 令和8年9月16日（水）～11月29日（日）
- ・会場 宇治市源氏物語ミュージアム 企画展示室

(3) 教養講座「仮名文字から見る源氏物語の世界」

紫式部によって書かれた源氏物語の世界をより深く理解し、仮名文字の歴史・魅力を感じる講座を実施します。

- ・日時 令和8年9月19日（土） 14：00～16：00
- ・会場 宇治市文化会館 小ホール
- ・講師 根本 知 氏（書家）
- ・募集人数 380人（先着）

(4) 宇治市源氏物語ミュージアム 連続講座

「深淵なる『源氏物語』 一かく・よむ・みせる」

宇治十帖のヒロイン・浮舟の物語を、和歌に注目して読み解きます。

- ・演題 『源氏物語』と和歌 一浮舟の物語をめぐる一
- ・日時 令和8年10月15日（木） 14：00～15：30
- ・会場 宇治市源氏物語ミュージアム 講座室
- ・講師 中 周子 氏（大阪樟蔭女子大学名誉教授）
- ・募集人数 80人（応募者多数の場合抽選）

(5) 百人一首大会

古典に親しむきっかけとなるよう、市内の小学生による百人一首大会を開催します。

- ・日時 令和8年11月3日（火・祝） 9：30～16：00
- ・会場 宇治市産業会館
- ・募集人数 60人（応募者多数の場合抽選）

(6) お琴(箏)を弾いてみませんか 箏体験ワークショップ -古典の日燦費ジュニアアンサンブル第1期生-
『源氏物語』にも登場する箏の琴。その所作を学び、演奏の鑑賞や体験を通して伝統文化に親しみます。体験後には、紫式部文学賞等贈呈式の開場時に演奏発表を行います。

- ・日時 令和8年11月15日(日) 12:10~13:10
- ・会場 宇治市文化会館 小ホール ホワイエ
- ・講師 大谷 祥子 氏(箏曲家)
- ・募集人数 10人(応募者多数の場合抽選)

(7) 宇治アートプロジェクト 落語ワークショップ

子どもたちが地域の歴史や文化を振り返りながら、落語を通じて言葉や所作による表現や伝え方を学び、体験・発表・鑑賞を通して表現・伝達することの可能性を探ります。

- ・日時 令和8年11月22日(日)、23日(月・祝)、29日(日)、12月20日(日)
- ・会場 宇治市文化会館
- ・講師 桂 米二 氏(落語家)
- ・募集人数 40人(応募者多数の場合抽選)

(8) 宇治市歴史資料館 特別展

「宇治川をめぐる」

古文書や絵図・写真などから、豊かな歴史・文化を育んできた宇治川をめぐる、人々の営みをひもときます。

- ・会期 令和8年9月12日(土)~11月29日(日)
- ・会場 宇治市歴史資料館

(9) 宇治茶まつり

茶祭式典、茶筌塚供養、茶席、名水汲み上げの儀 他

- ・日時 令和8年10月4日(日) 9:00~15:00
- ・会場 興聖寺、宇治上神社、京都府茶業会館、宇治橋三の間

(10) 宇治市民文化芸術祭

市民の文化芸術活動の成果を発表する場を設けることにより、自主的な文化芸術活動を発展させるとともに、世代や地域を超えた交流が図れるよう開催します。

《フェニックスコンサート》

- ・日時 令和8年6月14日(日) 12:00~15:30
- ・会場 宇治市文化会館

《宇治市民いけばな展》

- ・日時 令和8年6月20日(土)、21日(日) 9:00~17:00
- ・会場 宇治市植物公園

《ミュージックフェスティバル》

- ・日時 令和8年10月18日（日） 12:00～17:00
- ・会場 宇治市文化会館

《合同祭》

- ・日時 令和8年10月24日（土）・25日（日） 10:00～17:00
- ・会場 宇治市文化センター

《宇治市民絵画展》

- ・日時 令和8年11月26日（木）～29日（日） 10:00～17:00
- ・会場 宇治市中央公民館

《宇治市民写真展》

- ・日時 令和9年1月22日（金）～24日（日） 9:00～17:00
- ・会場 宇治市中央公民館

（11）高校生文化芸術祭典 FUN×FAN×FES

市内の高校生による実行委員会で文化祭を企画し、舞台発表や作品展示を通じて交流を行います。

- ・日時 令和8年12月13日（日） 9:30～17:30
- ・会場 宇治市文化センター

3. その他の文化事業

○「京の七夕 in Uji」事業(観光振興課)

京の七夕 in Uji 今宵、あなたの願いが宇治の夜空に届く。

大切な人と体験する心に残る宇治ならではの夏のライトアップイベントを実施しました。

古くから伝わる七夕の願いや文化を大切にしながら、宇治ならではの情緒溢れる現代版七夕です。

- ・日時 令和8年8月7日(金)～9日(日)
- ・会場 京都府立宇治公園周辺・茶づな・天ヶ瀬ダム・SMBC 宇治グリーン発電所

The image is a composite of two parts. On the left is a detailed 'Schedule' (スケジュール) for the event, listing various activities like 'Festive Fireworks' (Festive Fireworks), 'Festive Fireworks', 'Festive Fireworks', and 'Festive Fireworks' with their respective times and locations. On the right is a vertical poster for 'KYO NO TANABATA in Uji'. The poster features a stylized illustration of a person in traditional Japanese clothing, possibly a geisha, standing under a starry night sky. The text on the poster includes the event title 'KYO NO TANABATA in Uji' and the dates '2026/8/7(金)・8/8(土)・8/9(日) August 7-9'.

This is a detailed map of the 'KYO NO TANABATA in Uji' event area. The map shows the locations of various activities and landmarks, including '宇治公園' (Uji Park), '茶づな' (Chazuna), '天ヶ瀬ダム' (Takasen Dam), and 'SMBC 宇治グリーン発電所' (SMBC Uji Green Power Plant). The map is color-coded to show different zones and activities. At the bottom of the map, there is a section titled 'Access' (アクセス) which provides information on how to reach the event area by train and car. The map also includes a section for 'Event Information' (イベント情報) which lists the dates and times of the event.

○ 宇治川の鵜飼100周年記念事業(観光振興課)

今年、再興から100周年となる記念すべき年を迎え、先人たちが守り伝えた伝統を次世代に引き継ぎ、更なる魅力発信をするため記念事業として、宇治川の鵜飼再興100周年記念式典、こども鵜匠体験、うかい絵画コンクール、船頭 PR 動画制作などを実施します。

● 宇治川の鵜飼再興100周年記念式典

記念講演、日本各地の鵜匠トークセッションの他、絵画コンクルールの展示・表彰などを行います。

- ・日時 令和8年11月14日(土)
- ・会場 宇治市文化会館 小ホール

● こども鵜匠体験

宇治川の鵜飼について、鵜匠から直接知識を学び(座学)、こども鵜匠衣装を着用し体験するとともに、夜は、船に乗って宇治川の鵜飼を見学します。

- ・日時 令和8年7月26日、8月2日、8月23日、8月30日
(いずれも日曜日)
- ・対象 宇治市内在住の小学5、6年生
- ・募集人数 各日5名



● うかい絵画コンクール

こどもを対象に「鵜飼」をテーマにした絵画コンクールを開催します。

- ・対象 年長児・小学生
- ・審査 最優秀賞1作品、
宇治市長賞・宇治市教育長賞・ウッティー賞(計6作品)、
入選7作品
- ・募集期間 令和8年9月4日(金)まで
- ・特別選出 応募作品の中から宇治市観光大使「武人画師こうじょう雅之セレクション」作品を選出。こうじょう氏から作品コメントをお届けします。

宇治市公認キャラクター
「うみうのウッティー」



○ 宇治茶・観光誘客動画制作費(宇治茶 PT)

宇治茶の生産過程(覆下・茶摘み)や堀井式碾茶乾燥炉等の製茶過程とお茶をいただくまでの宇治茶にかかわる歴史と文化を国内外に発信する動画を作成し、宇治茶の魅力を伝え、宇治茶のブランド力強化と観光振興を図ります。

○ 戦略的観光情報発信事業(観光振興課)

京都アニメーションの作品である「響け！ユーフォニアム」を観光資源として活用し、市内の周遊観光を図るとともに宇治市の魅力を発信します。

● あがた祭における「響け！ユーフォニアム」のパネル設置

あがた祭の開催に合わせ、「最終楽章 響け！ユーフォニアム 前編」のキャラクターパネルを大吉山へ設置し、伝統行事のにぎわいづくりを図りました。

・日時 令和8年6月5日(金) 13:00～20:00

・会場 大吉山展望台付近 (13:00～16:00)

大吉山登山口 (17:00～20:00)

● 劇場版「響け！ユーフォニアム」の公開に合わせた交通事業者等との連携イベントを実施



<パネル設置の様子>



<昨年度の事例(チラシ)>

○ 市役所ギャラリーコーナー市民作品展示(文化スポーツ課)

市役所1階ギャラリーコーナーを展示スペースとして貸し出し、市民の皆さんの日頃の文化芸術活動の成果を披露していただくとともに、誰もが気軽に文化芸術に触れられる「身近なアート場」を創出することで、アートを通じた心豊かな交流を目指します。

- ・会場 宇治市役所1階ギャラリーコーナー
- ・内容 絵画、写真、書道、工芸品等の作品の展示
- ・期間 令和8年10月5日(月)～令和9年3月26日(金)

※月曜日から翌週金曜日までの12日間を1期間として貸出



○ 宇治市文化芸術功労賞(文化スポーツ課)

宇治市において、文化芸術活動に永年従事し、市民文化の向上発展や市の文化芸術の振興に貢献し、特に功労があった者、もしくは団体に対し、表彰を実施することで、文化芸術活動の活性化を図るとともに、活動を支える人材の功労を讃えます。

- ・対象 市内在住・在勤・在学の個人、市内を活動拠点とする団体、若しくはこれに所属する者で、以下のいずれかに該当するものを表彰する。
 - ①20年以上文化芸術活動に従事し、市民文化の向上・発展に貢献
 - ②10年以上文化芸術活動の指導的立場に従事し、文化芸術の継承・発展に貢献
- ・日時 令和9年3月に開催予定の市制施行記念式典に併せて表彰

○ 宇治市歴史資料館 特別展(博物館管理課)

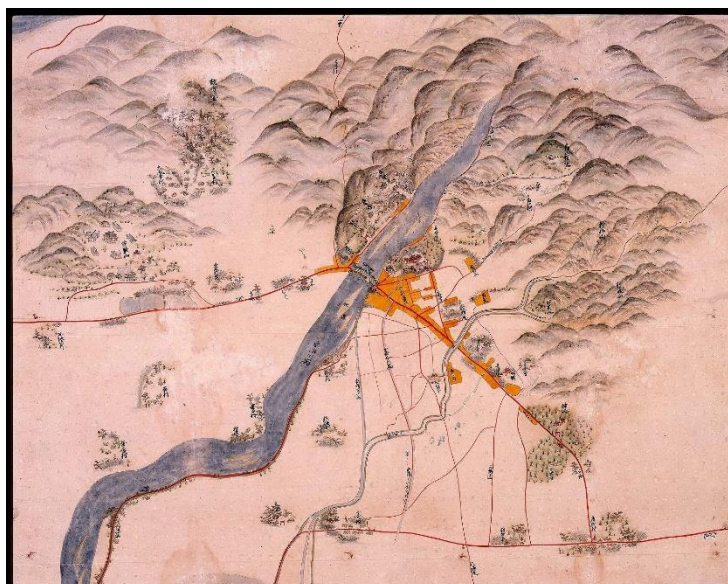
● 特別展「宇治川をめぐる」

琵琶湖を水源とする宇治川は、はじめ瀬田川といい、山間部を抜けて宇治川と名を変え、巨椋池(大池)を経て、淀の辺りで北からの桂川、南からの木津川と合流して淀川となり、大阪湾へ流れ込みます。関西随一でもあるこの淀川水系は、これまで豊かな歴史や文化を育んできました。

本展では、江戸時代の宇治川をめぐり、宝暦6年(1756)の宇治川洪水を中心とした水害と御茶師について紹介するほか、宇治川の水運を利用した屎尿肥料の運搬や巨椋池における水鳥と狩猟、そして、今回新たな知見を得た大正15年(1926)にはじまった宇治川の鵜飼について、江戸時代以降の古文書や絵図、写真などを通して紹介します。

・日時 令和8年9月12日(土)～11月29日(日)

・会場 宇治市歴史資料館



宇治郷周辺絵図(江戸時代、宇治市歴史資料館蔵)

○ 歴史文化体験事業費(歴史まちづくり推進課)

● (仮称)浄妙寺ワークショップ

地域の歴史遺産を公開・活用し、地域の歴史に対する誇りと愛着を醸成する取り組みとして、遺構再現や散策等を実施します。

- ・日時 令和8年11月7日(土)
- ・会場 浄妙寺跡地(木幡小学校グラウンド)
- ・対象 木幡小、御蔵山小、木幡中の小学3年生以上の児童生徒



○ ふるさと宇治のこころ育み事業費(学校教育課)

宇治学(総合的な学習の時間)における特別体験プログラムとして、茶づなのミュージアムなどでの、お茶に関する学習により、宇治茶の歴史・文化への理解を深め、自らの地域に対する誇りや、「ふるさと宇治」への愛着心を育みます。

- ・小学生の校外学習(実施学年・日時は各学校が設定)
- ・茶づなのミュージアムでの学習を中心にお茶の歴史や茶道等の体験を通じ伝統文化に触れることで、子どもたちの豊かなこころや創造性を育むとともに文化のこころを継承します。

